

倉田コミュニティハウス通信

2011年9月号 NO. 58

〒244-0816 戸塚区上倉田町 1865-4 Tel/fax 045-866-1800



倉田コミュニティハウス5周年文化祭



平成 23 年 10 月 29 日 (土) (詳細はお問い合わせください。)

作品展	午後 0 時～5 時 力作をご覧ください。
そば処 コミハ庵 (麵恋倶楽部 出店)	午後 0 時～午後 2 時 手打ちもりそば一人前 300 円です。前売り券を 10 月 3 日 (月) より 販売します。先着 50 名とさせていただきます。

10 月 30 日 (日) (詳細はお問い合わせください。)

作品展	午前 10 時～午後 3 時 力作をご覧ください。
音楽発表会	第 1 部：午前 10 時 30 分～午後 0 時 第 2 部：午後 1 時～午後 2 時 30 分 出演数によって時間の変更があります。お問い合わせください。
出張焼き立て パン屋さん	パン工房アンジュ & 共働舎 焼きたてのパンや陶芸、花苗などを販売いたします。
喫茶室	午前 10 時～午後 3 時 (無料です。) コーヒー、紅茶、緑茶がお楽しみいただけます。

9月の予定表詳しくはお問い合わせ下さい。

日			
1(木)	抽選会	午前 10 時から 2011 年 9 月分の抽選会です。	
6(火)	1・2・3 クラブ & フリースペース	1 歳～未就園児向けの子育て支援です。	申し込みは終了いたしました。 午後 12 時から 1 時まで は フリースペースになります。
3・10 17・24 (土)	3時になったら ラジオ体操プラスお茶	0 歳～高齢者 どなたでもどうぞ	簡単な体操をして、その後 お茶会です。参加費 100 円です。
9・30 (金)	パッチワーク講座		申し込みは終了しました。 ご希望の方はお問い合わせください。
16(金)	サロン上倉田	高齢者・幼児向けサロン 上倉田社協共催事業	お年寄りも大人も子供も 楽しいひと時をお過ごしください。 午前 10 時から午後 2 時まで
20(火)	ぴよぴよクラブ (9 月は日程が変更 になっています。)	8 ヶ月～1 歳半向け 子育て支援事業 上倉田社協共催事業	午前 10 時から午後 12 時まで 定員 30 組。人数によってはお断りする こともあります。活動費 50 円です。
20(火)	0 歳児クラブ	0 歳児向けの 子育て支援です。	申し込みは終了しましたが、 ご希望の方はお問い合わせください。
20(火)	フリースペース	親子の遊びスペース	午後 2 時から 3 時まで
24(土)	サックス講座		申し込みは終了しましたが、 ご希望の方はお問い合わせください。
28(水)	上倉田社協食事会	高齢者向け会食会 上倉田社協共催事業	おいしいお食事を食べて、 ゆっくりお過ごしください。 午前 11 時半から午後 2 時まで
7(水)、14(水) 21(水)、26(月)		節電対策の為、横浜市の指示により 7、8、9 月は休館日が増えます。	

私と倉田コミュニティハウス

NO. 6

子育て事業「123クラブ」にボランティアとして、活動しているお二人のリレートークです。

私が「読み聞かせの会」のボランティアとしてコミュニティハウスに通い始めて4年になります。二人の息子は共に生後2ヶ月から通う「コミハっ子」です。長男は読み聞かせが終わっても必ず牛乳パックの積み木等で遊び、なかなか帰ろうとせず、玄関から出たと思うと敷地内を走り回り、思う存分遊んでから帰るのが常でした。私にとっては「読み聞かせ」をする場所でもあり、また、子供を安心して遊ばせられる場所でもあります。長男は4月から幼稚園生となり行けなくなりましたが、「2代目コミハっ子」の次男ともどもこれからも宜しく御願ひ致します。



《K・I》

キッズオープンデーやシャボン玉ショーなどのイベントへの参加や「123クラブ」へとバージョンアップした「読み聞かせの会」のボランティアとして、幼稚園の親子サークルとして、時にはピアノを習う息子に本物のピアノで練習するために音楽室へ…子育て真っ最中の私にとって、コミュニティハウスは子供たちの交流の場と同時に、同年代の子を持つ母親達の大切な交流の場でもあります。スタッフの笑顔と優しい木の温もり、初めて訪れた時から変わらないもの。そして子供たちの成長という変わったもの。これからは変わらずに安心し、また、変わったからこそ面白いコミュニティハウスに集うのを楽しみにしています。



《M・M》



スタッフのひと言

100万人のキャンドルナイトを知っていますか？

「夏至、冬至の夜8時から10時の2時間みんなで一斉に電気を消そう。」と呼び掛けている。数年前、友人からキャンドルナイトの事を教えてもらった。夏至の日、早めにお風呂に入り、食事をし、片付けを終えた。電気が無いと本も読めなくてきっと退屈だろうな。と思っていたが、電気を消してキャンドルを灯すとゆったりと時間が流れる落ち着いた空間が現れた。キャンドルの優しい光の中での家族の会話はとても新鮮で楽しくあっという間の二時間だった。



それから我が家では夏至、冬至にかかわらず時折電気を点けない夜を過ごしている。キャンドルの灯りに包まれた遅めの夕食はなぜかちょっとおしゃれで美味しい。灯りの下で、私はいつもよりちょっと優しくなって世界の平和に思いを馳せたり、くよくよしている自分に大丈夫と言えたりする。これからはこんな素敵な時間を過ごすため夜電気を消してみる。節電というおまけつきだ。

《H. N》